

地域活性化×舞鶴

～先進的な取り組みを積極的に進める～

【協定を締結した3社の概要】



▲百瀬裕一 代表取締役社長

株式会社 J&J 事業創造

決済事業 (JCB)・旅行事業 (JTB) のインフラを通じて、新たな付加価値を提案し、快適で心豊かな生活作りに貢献。



▲橋本茂人 代表取締役

株式会社ハッシャダイファクトリー

「よそのもの、ばかもの、わかもの」の「選抜格差」のない社会を目指す。中・高卒者を対象に就職に必要な知識や技能などを教え企業への就職支援を行う「ヤンキーインターン」が話題に。



▲中馬一登 取締役

株式会社美京都

「わがままであれ」を経営理念とし「若者の可能性を広げる」「京都の価値を創造する」「地域の魅力を発信する」を掲げる。自治体や大学、企業と連携し事業やイベントを多数展開。

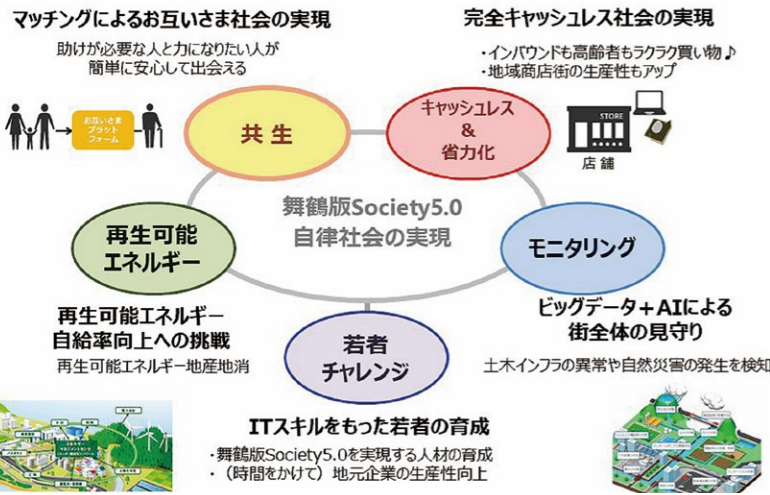
舞鶴市・(株)J&J事業創造・(株)美京都・(株)ハッシャダイファクトリー 地域活性化連携協定 締結式



コワーキングスペースの開設に先立ち、3月28日に市と株式会社J&J事業創造、株式会社ハッシャダイファクトリー、株式会社美京都の4者で「地域活性化連携協定」を締結しました。豊かな自然や文化をもつ舞鶴市を舞台に、若い世代への発信力の強い企業と連携、さまざまな交流を起点として、ビジネス創生、人材活用、働き方改革、若者が夢を抱ける環境づくりなどにつなげることを目的としています。この協定により新たな取り組みを進めていくことで全国に先駆けて「舞鶴モデル」の実現を積極的に目指します。

地方都市の課題解決×舞鶴

～持続可能なまちを目指す～



舞鶴市、オムロン包括連携協定に関する記者説明会

自律社会の実現

少子・高齢化や地域経済の停滞、地域コミュニティの弱体化などによる地方自治体の財政の悪化など、日本の地方都市は多くの課題を抱えていることになります。市では将来の課題を見据えて積極的に先進技術を取り込み「便利で豊かな田舎暮らし」ができるまち(舞鶴版 Society5.0) ※1の実現を進めるため、4月12日にオムロンソーシャルソリューションズ株式会社(細井俊夫社長)と2030年を見据えた地方の社会的課題解決のための包括連携協定を締結しました。

今回の協定は、上図の5項目を実現することで、地方都市が外部環境に依存せず、自ら稼ぎ、安定した地域経済を実現することで、持続可能な社会「自律社会」の形成を目指して連携し共同で取り組むものです。

※狩猟・農耕・工業・情報社会に続く新たな社会。仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより経済発展と社会的課題の解決を両立した、人間中心の社会。



舞鶴発 新たな地域活性化モデル

コワーケーション ビレッジ Coworkation Village MAIZURU

CO × WORK × VACATION

みんなで×働く×休暇

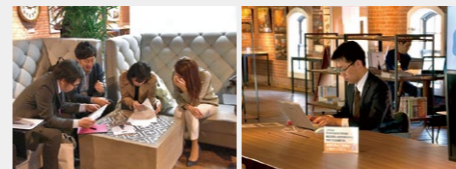
あえて会社を離れてリラックスできる環境で仕事を。働き方が多様化している今、働き方に縛られず、働く場所を自由に選べる時代。市では民間企業と協働で赤れんが3号棟2階にコワーキングスペースを開設。重要文化財である赤れんがの建物の中に現代のデザイン家具を設置し、日常とは異なる空間で仕事や打ち合わせなどができるスペース。都市部の事業者やフリーランスをはじめ市内の事業者や市民、学生など誰もが自由に利用でき、人の交流から舞鶴の若者が夢を抱けるような「地域活性化フィールド」としてトライアルを開始しました。

交わりによる創造

豊かな自然、歴史、文化や少し足を延ばせば都会にも行けるという立地性を最大限に生かし、企業や教育機関と連携し、先端技術を取り入れながら「便利な田舎暮らし」の実現に向けてさまざまな取り組みを進めています。今回は、2030年の市の姿を見据え、地域の課題解決や新たな地域活性化に向け、進めている取り組みを紹介いたします。

誰でも利用できます

「Coworkation Village MAIZURU」は地域を活性化するフィールド。会員登録していただければ誰でも利用できます。市民の皆さんの活力が市の活力になります。



- ◆利用時間 9時～17時
- ◆場所 赤れんが3号棟2階
- ◆利用料金 ◆月額会員…月17,280円 ◆日額会員…1日1,296円
- ◆席数 40席
- ◆設備等 Free-Wi-Fi、冷蔵庫

【5月に予定しているワークショップ】

- ◆(株)ハッシャダイファクトリー企業説明会
- ◆プログラミング教室 (32号に関連記事)
- ▶詳しくは、移住・定住促進課(☎66・1085)へ。



便利な田舎暮らしの実現に向けて

2030年の舞鶴の姿

ヒト、モノ、情報、あらゆる資源がつながる未来のまち